

自主シンポジウム (3-B) ガイダンスカリキュラム (授業型の生徒指導) の授業と工夫 — 模擬授業で体験する「育てる生徒指導・教育相談」の最前線 —

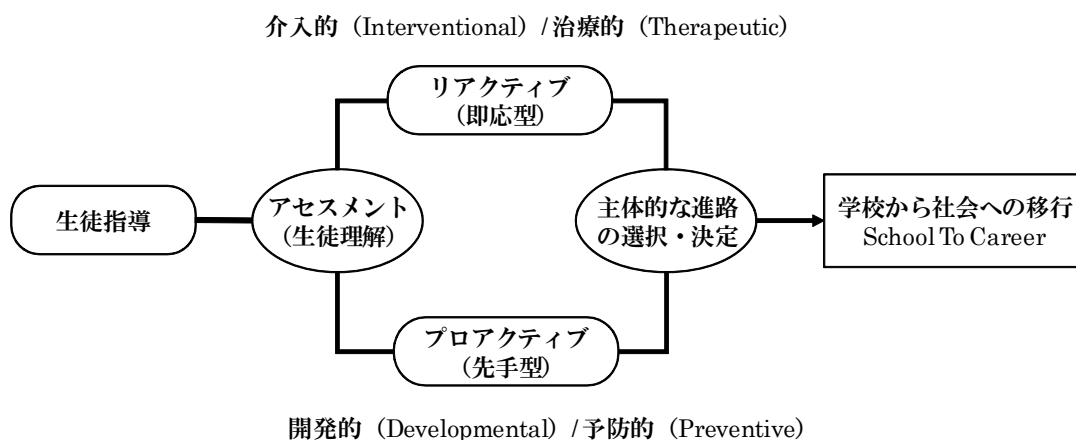
東京理科大学教授 / 文部科学省視学委員
八並 光俊 Mitsutoshi YATSUNAMI
E-mail verite@rs.kagu.tus.ac.jp

専門は、生徒指導(スクールカウンセリング)。インディアナ大学・東京大学客員研究員、文部科学省「教育相談等に関する調査研究協力者会議」委員、内閣府「少年非行事例等に関する調査研究企画分析」委員、OECD「いじめ・暴力国際ネットワーク」国内委員、日本学校心理学会理事、日本生徒指導学会副会長・事務局長、学会連合資格「学校心理士」認定運営機構理事、2009年度アメリカ国務省の次世代の日本のリーダーとしてインターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラムに参加、『新生徒指導ガイド』(図書文化社、2008年)他、著書・論文は多数。

1 生徒指導の定義と実践モデル

生徒指導とは、子ども一人ひとりのよさや違いを大切にしながら、彼らの発達に伴う学習面、心理・社会面、進路面、健康面などの悩みの解決と夢や希望の実現をめざす総合的な個別発達援助である。

出典：八並光俊 2006 学校心理学部門 応用実践期におけるチーム援助研究の動向と課題 - チーム援助の社会的ニーズと生徒指導との関連から - 教育心理学年報，第45集，125-133。



出典：八並光俊 2006 総合的個別発達援助としての生徒指導 - アセスメント (生徒理解) に基づく生徒指導体制づくり - 指導と評価 特集：生徒指導のあり方，12月号，図書文化社

2 プロアクティブな（育てる）生徒指導

すべての子どもたちは学習することができます。しかし、トラブルにみまわっている子どもたちは、容易には学習することができません。スクールカウンセラーは、彼らを援助できます。家庭崩壊、薬物乱用、児童虐待、貧困、暴力、自殺によって、たくさんの子どもたちが多くのストレスの中で、教育的失敗やドロップアウトの危機に直面しています。両親や保護者の協力による早期の介入は、重要な役割を果たします。直接的サービスを提供するガイダンスプログラム、すなわち専門的トレーニングを受けたカウンセラーによって提供されるガイダンスプログラムは、21世紀の学校の予防努力の重要な要素です。

出典： The Texas School Counselor Association 2001 *Texas school counselors: someone your child can turn to in the school setting.*

スクールカウンセリングプログラムは、「範囲において総合的であり、意図において予防的であり、性質において開発的（発達の）である。」（ASCA：米国スクール・カウンセラー協会，中野良顯訳『スクール・カウンセリングの国家モデル 米国の能力開発型プログラムの枠組み』学文社，2004，P.17）と明記している。

伝統的なカウンセリング	スクールカウンセリング
治療的・介入的	開発的・予防的
個人へのカウンセリングの重視	集団へのガイダンスの重視
一部もしくは特定の子どもが対象	すべての子どもが対象
カウンセラー個人のサービスが中心	系統的で構造化されたプログラムの提供が中心
成果や結果責任が曖昧で測定困難	成果や結果責任は明確で測定可能
カウンセラー主導型の実践	カウンセラーと学校スタッフによる協働型の実践

出典：八並光俊 2008 ガイダンスカリキュラムとは 八並光俊・國分康孝編
 新生徒指導ガイド 図書文化社

スクールカウンセリングプログラムでは、子どもたちの学業的発達（Academic Development）、キャリア的発達（Career Development）、個人的・社会的発達（Personal / Social Development）の3つの発達領域に関して、望ましい学習能力（ラーニング・コンピテンシー）を設定し、幼稚園から小学校・中学校・高等学校の各学校段階・学年段階ごとに、計画的・系統的な発達援助を行う。開発的・予防的な能力開発型のスクールカウンセリングプログラムの中核的な提供サービスが、ガイダンスカリキュラム（＝ガイダンスプログラム）である。

3 ガイダンスカリキュラムの特色

これからの生徒指導

今後の生徒指導では、問題解決的な生徒指導（リアクティブ：主にチーム援助による「治す」カウンセリング）と開発的・予防的な生徒指導（プロアクティブ：集団活動を通して個を育成する「育てる」カウンセリング）のバランスが焦点となる。後者の中心となる援助サービスが、ガイダンスカリキュラムである。

構造化された開発的・予防的なインストラクショナルプログラムである。

構造化された意図的な授業を通して、自己理解・スタディスキル・意思決定スキル・問題解決スキル・対人コミュニケーションスキル・キャリア計画などの学習能力の育成を行う。

明確な教育目標をもった系統的・計画的なカリキュラムである。

明確な教育目標に基づいて構成されたガイダンス单元による、系統的・計画的授業や集団活動を通じて、子どもたちは、自己発見、自己理解、他者理解、職業理解などの発達課題を乗り越え、学校や社会で生きるための力の獲得する。また、ガイダンスカリキュラムは、何をどの程度子どもたちが学習するのかというスコープ（領域内容や範囲）と、発達段階に応じてどのような順序で学習するのかというシーケンス（学習内容の配列や順序）を組み合わせで作成される。

発達段階に応じて段階的、継続的に、知識やスキルの習得を目指す。

ガイダンスカリキュラムは、学校全体のカリキュラムに組み込まれて、幼稚園から高校まで、段階的かつ継続的に提供されることによって、すべての子どもに必要な知識やスキルを育成することをねらいとしている。

ガイダンスカリキュラムの教育効果は、査定可能である。

ガイダンスカリキュラムは、教育目標、対象、内容、方法、予想される成果（アウトカム）などが事前に文書化されている。したがって、すべての子どもたちが目標どおりの知識やスキルを習得したかどうかは、事前事後テストや成果物などによって査定可能である。

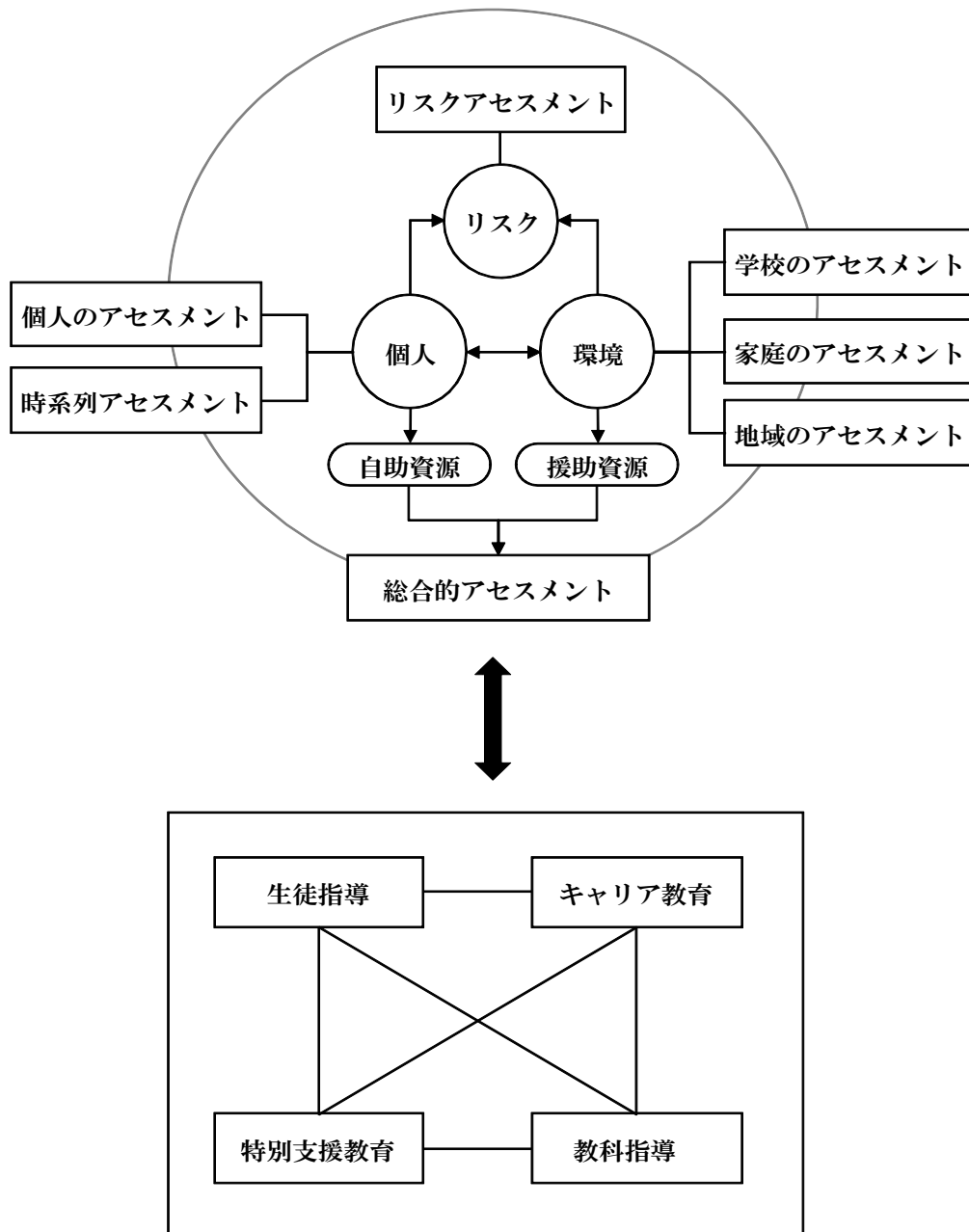
ガイダンスカリキュラムに関する最新情報は、下記サイトに掲載。

URL： <http://www.toshobunka.jp/sge/sodateru/gc4.htm>

東則孝 2009 ガイダンスカリキュラム（GC）の広場 図書文化社

4 総合的アセスメントの重要性

生徒指導を効果的に展開するには、早期の段階ですべての子どもを対象に、子どもの声を収集して、「個別的」(子ども一人ひとり)、「集团的・環境的」(学級・学年・家庭・地域)な総合的なアセスメント(イニシャルアセスメント)を行い、子どもの個性や長所(ストレングス)、悩み・問題(ウィークネス)、危機の度合い(リスク)、学校内外の援助者・機関等(サポーター)を把握することが大切である。



出典：八並光俊 2008 アセスメントとは 八並光俊・國分康孝編 新生徒指導ガイド 図書文化社 / 八並光俊 2009 心理教育的な初期アセスメントに基づいたチーム援助体制の構築 月刊生徒指導，3月号，学事出版

